

logmiFinance

個人投資家様向けIRセミナー

 内外トランスライン株式会社
International Freight Forwarder

プライム市場 9384

2024年11月20日



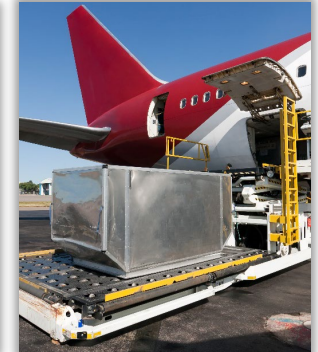
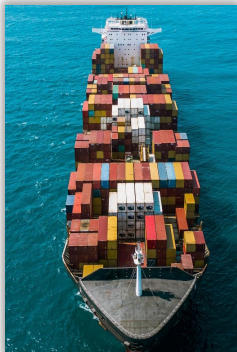
▶ 内外トランスラインとは

お客様の未来を運ぶロジスティクスパートナー

私たち内外トランスラインは、船舶や航空機は所有していませんが、お客様にとって最適な輸送手段を組み合わせることによりお客様のあらゆるニーズにお応えしています。

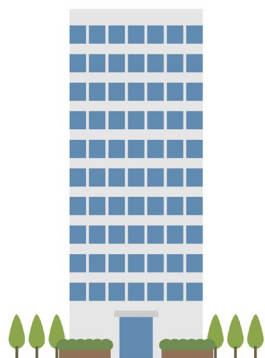
海上混載輸送のパイオニアとして国内シェアNo.1を誇り、海上輸送だけでなく航空輸送、倉庫運営、通関業、各種配送にも事業領域を拡大しています。

国際貨物輸送において「お客様第一主義」を経営理念に掲げ、世界に広がるグローバルネットワークでお客様の物流ソリューションになくてはならないパートナーとして、最適な国際輸送を提供しています。

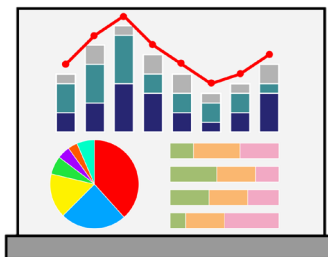


▶ 会社概要

社名	内外トランスライン株式会社
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード : 9384)
事業内容	国際総合フレイトフォワーダー



設立
1980年



連結売上高

322億円

(2023年12月期)

(2024年業績予想**340**億円)



連結従業員数

722名

(単体**233**名)

(2023年12月末現在)



国内事業所数

6 拠点

グループ会社

国内 **2** 社

海外 **12** 社

(非連結1社を含む)

フォワーダー（利用運送事業者）

船舶や航空機を所有せず、船会社や航空会社からスペースを借りて利用し、国際輸送を行う事業者です。

そのなかで海上輸送を行う利用運送事業者をNVOCC (Non-Vessel Operating Common Carrier) と呼びます。



お客様の輸送をコーディネート
しています

▶ コンテナ船とは?

日本の貿易に占める海上貨物の割合は、
トン数ベースで**99.6%**(2023年) ※1

海運は、わが国の貿易に不可欠な輸送手段であり重要なインフラです



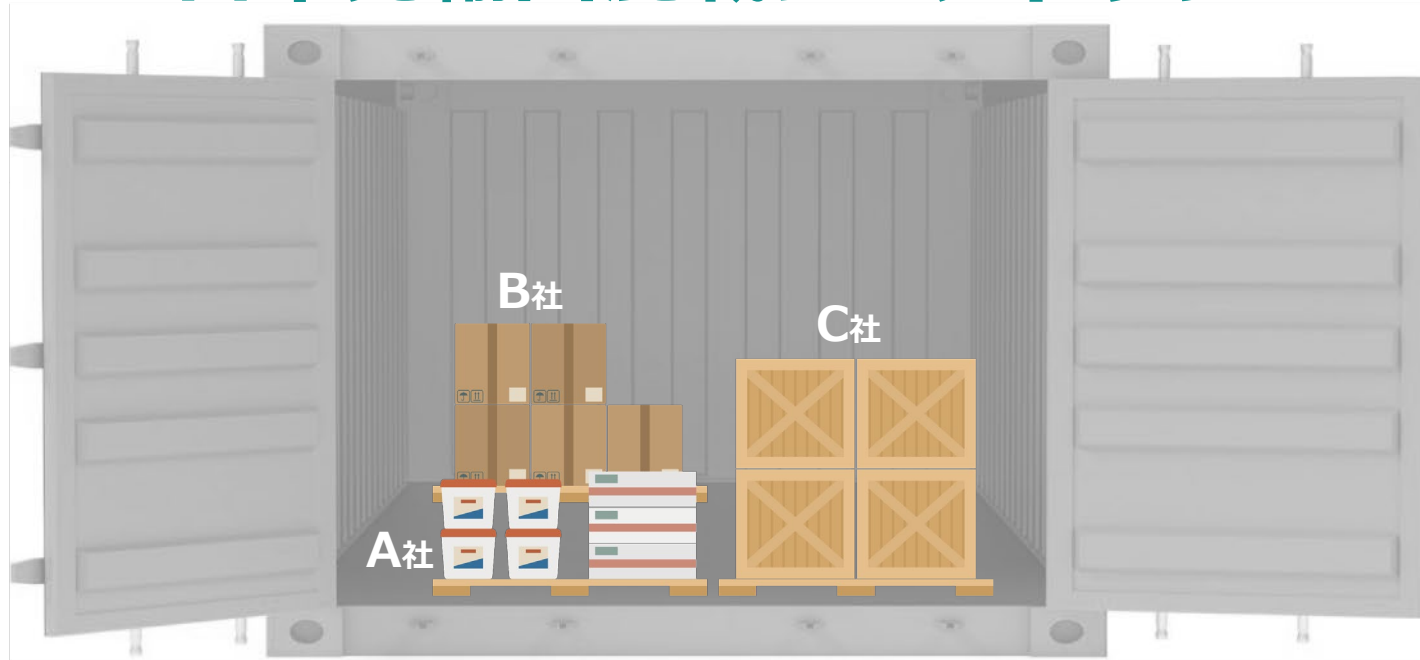
ONE Innovation ※2

出典：※1 公財日本海事センター/Shipping now 2024-2025

※2 OCEAN NETWORK EXPRESS

▶ 混載輸送 (LCL※1) の仕組み

1つのコンテナを複数のお客様でシェア 日本発輸出混載シェアトップ



船会社への運賃支払は
コンテナ単位

コンテナに積載する
荷主数、物量が**売上**に直結

顧客への運賃請求は、RT※2単位
効率良く積載することで
利益に直結

※1 Less than Container Load

※2 容積1m³または重量1tを1RTとして換算し、いずれか大きい方を適用して運賃を算定する

▶ 出港時のコンテナ内

積載効率を上げることは
環境に優しく、
当社の利益率向上に直結

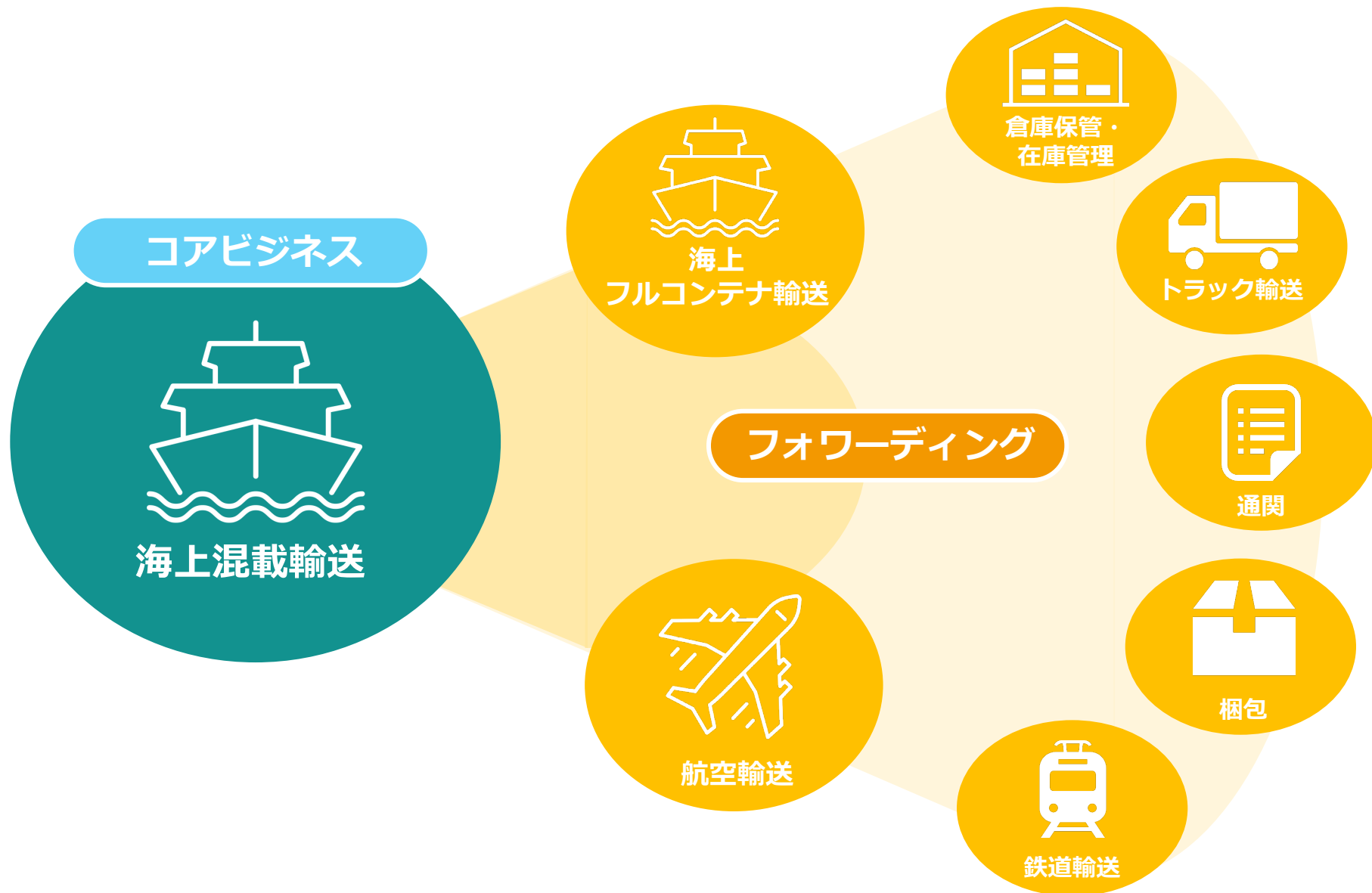
効率的な積載



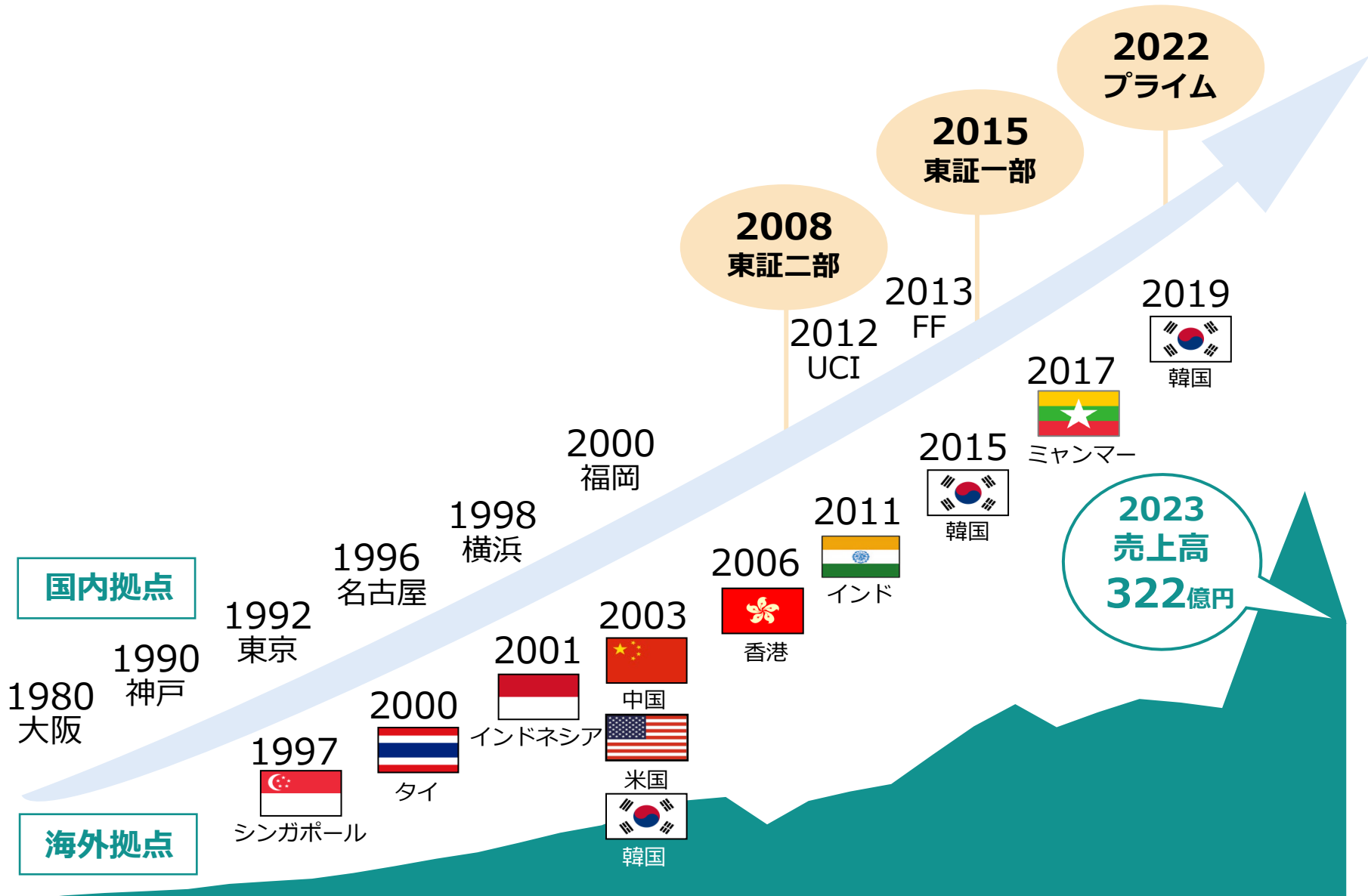
非効率な積載



▶ 当社グループのビジネス



▶ 当社グループの成長の軌跡



強み1 44年間の輸出混載の実績

1

顧客基盤

多数の取引先
同業他社様

特定業種の
影響少

2

船会社との
リレーション

長い取引歴による
船会社との
信頼関係

調達力

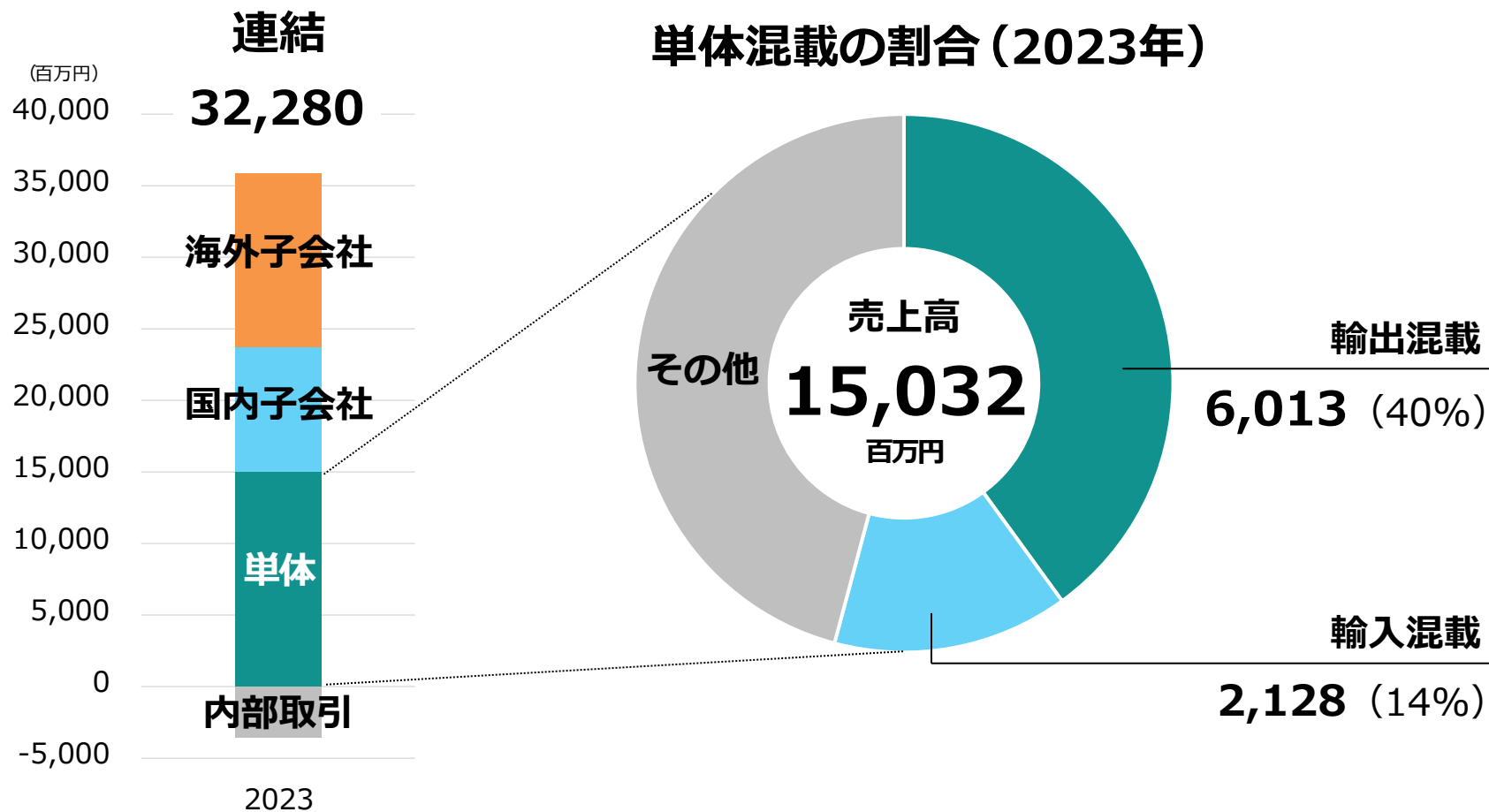
3

海外現法の
収益

現地における
輸入サイドビジネス
の取込み

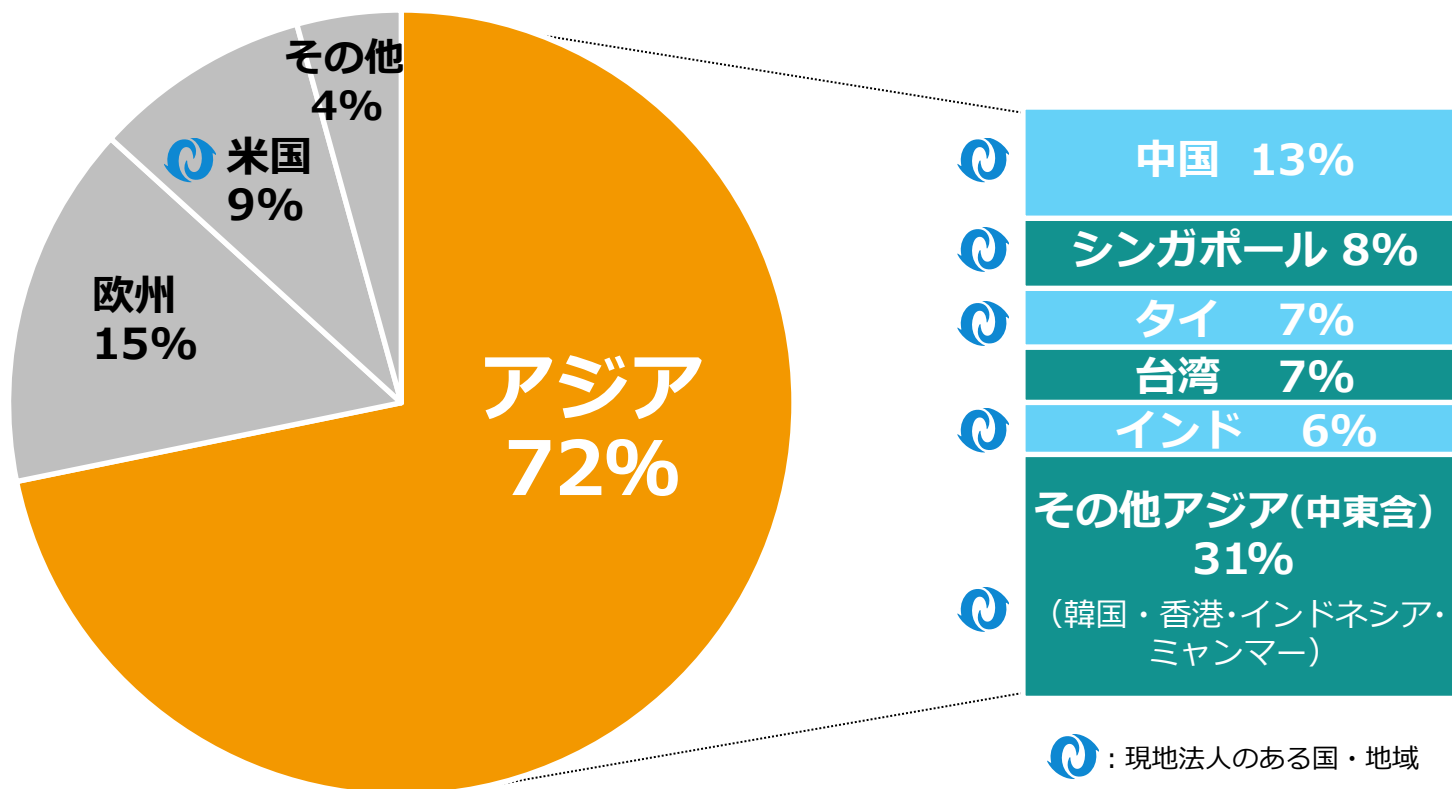
顧客の利便性向上
グループ収益の拡大

強み2 収益性の高い海上混載が主力商品

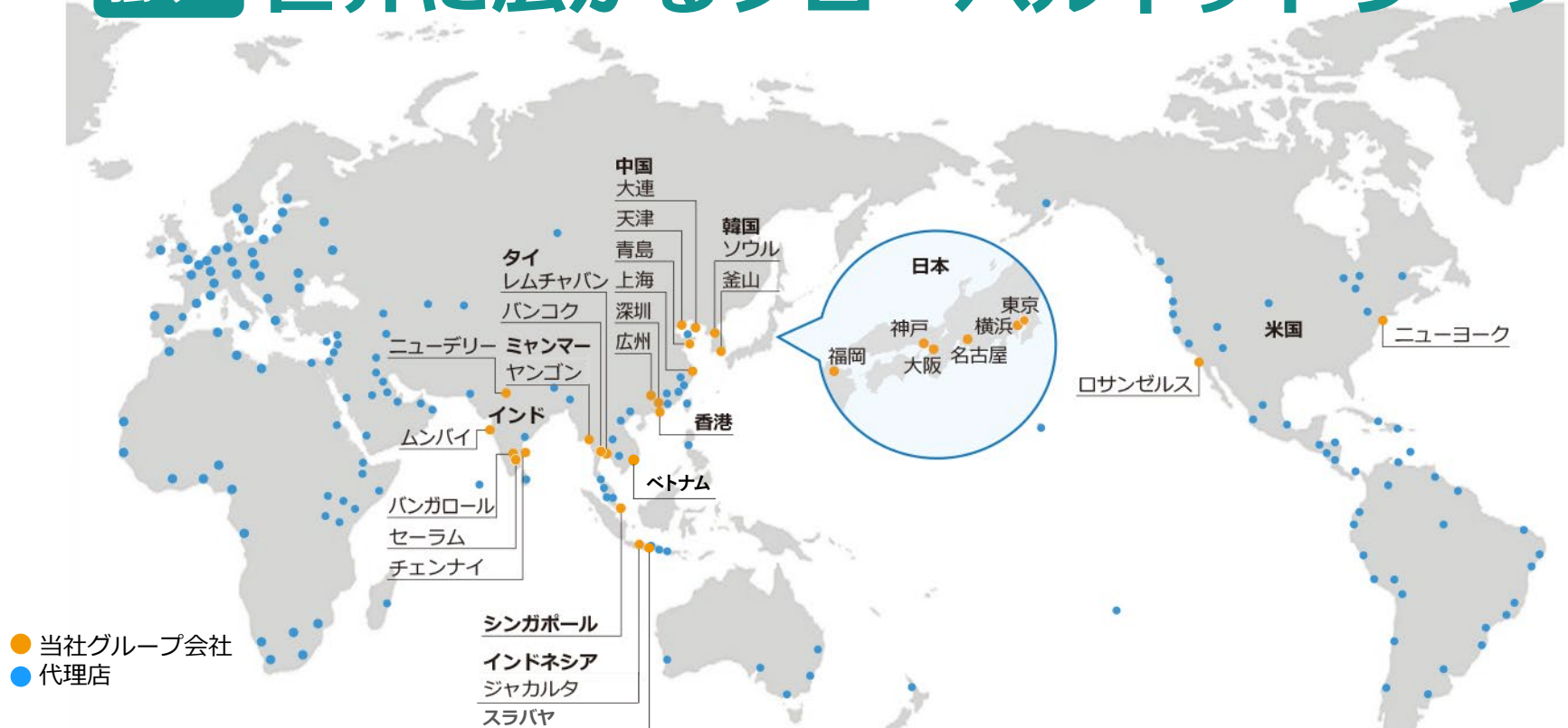


強み3 成長を続けるアジア向け輸出が主力

単体エリア別輸出混載売上シェア(2024/3Q累計)



強み4 世界に広がるグローバルネットワーク

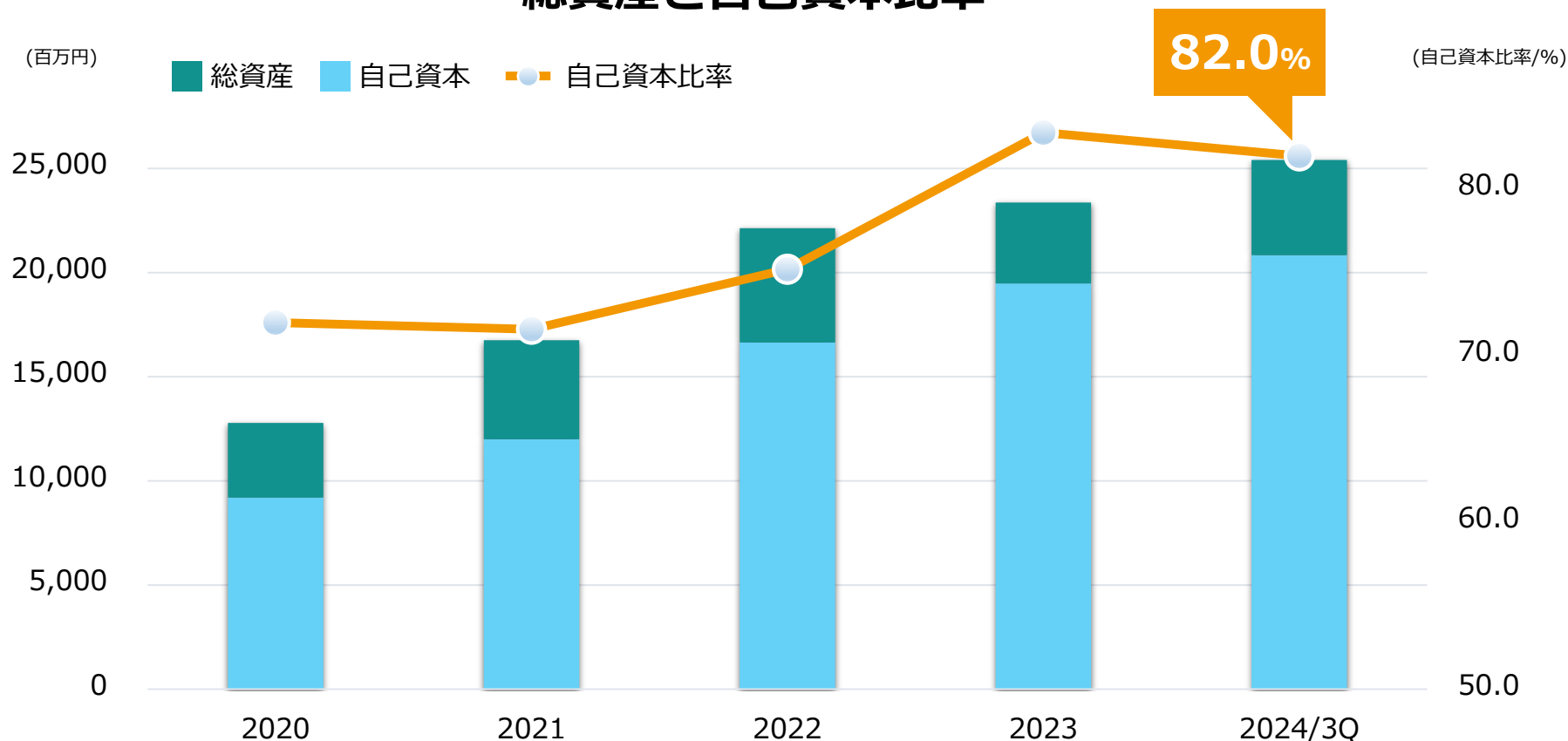


世界**400**か所以上の
地域へ輸送

保管・通関・配送など
フォワーディング
サービスの提供

強み5 有利子負債なし、力強い財務基盤(連結)

総資産と自己資本比率



▶ 連結貸借対照表 (2024/9月末)

(百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	18,154	流動負債	2,583
現金及び預金	14,008	買掛金	1,284
売掛金	2,969	未払法人税等	393
固定資産	7,248	固定負債	1,026
建物及び構築物	4,939	退職給付に係る負債	389
		負債合計	3,609
		(純資産の部)	
		株主資本	19,214
		資本金	243
		資本剰余金	380
		利益剰余金	19,626
		自己株式	-1,036
		その他の包括利益累計額	1,623
		非支配株主持分	954
		純資産合計	21,793
資産合計	25,403	負債純資産合計	25,403

自己資本比率[※]
82.0%

※自己資本：20,838百万円

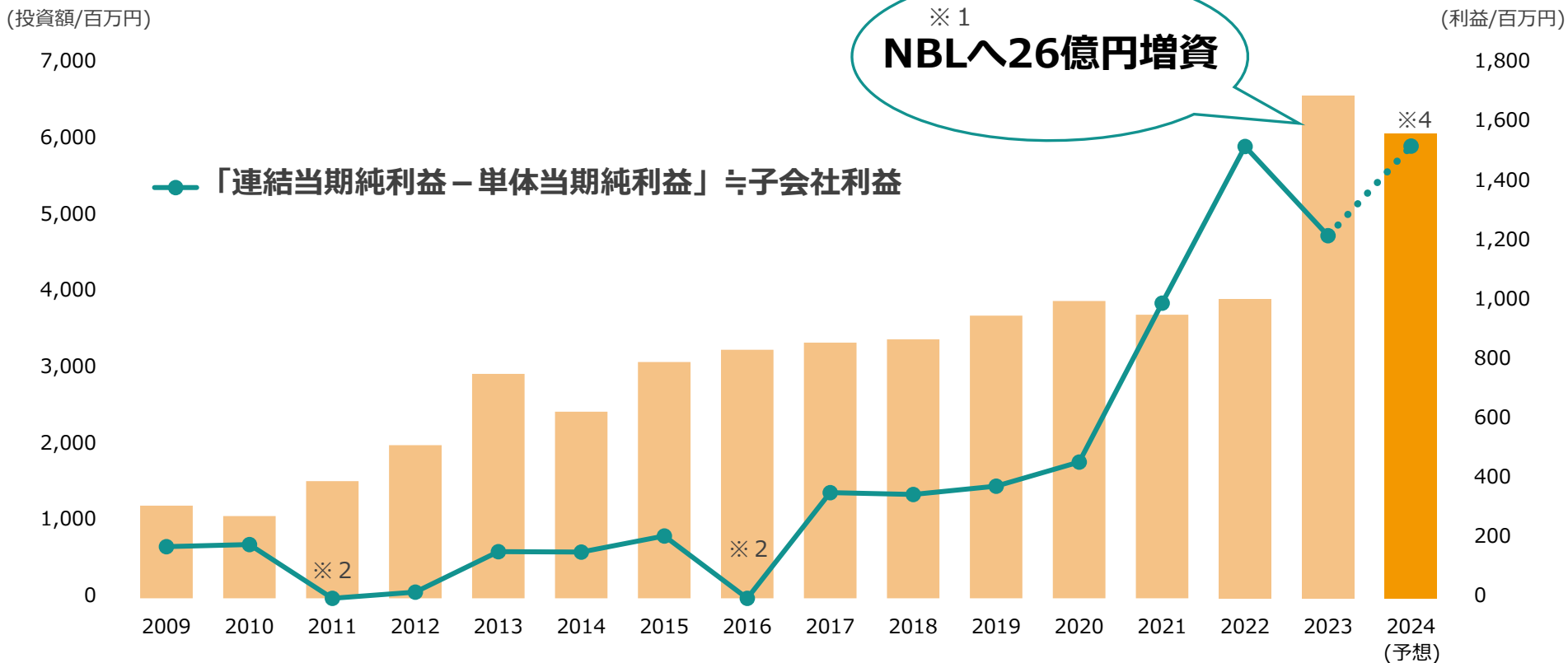
▶ 連結実績 (2024/3Q)

(百万円)

	2023/3Q	2024/3Q	対前年 増減率	2023	2024 業績予想 (2月9日)
売上高	24,326	27,708	13.9%	32,280	34,000
営業利益	3,278	2,987	△ 8.9%	4,203	4,600
経常利益	3,534	3,130	△ 11.4%	4,446	4,800
親会社株主帰属 当期純利益	2,385	2,133	△ 10.6%	3,041	3,300
為替レート ¥/US\$	138.23	151.45			

▶ 当社の投資の推移

単体の貸借対照表上の「投資その他資産」推移 ※3



※1 NBL…内外釜山物流センター(韓国の連結子会社)

※2 2011年、2016年の「連結当期純利益－単体当期純利益」については、連結でのれん減損損失等を計上したことにより、「連結当期純利益<単体当期純利益」となったため、ゼロで表示

※3 グラフには単体の流動資産の「関係会社短期貸付金」を含む

※4 連結子会社から関係会社貸付金の返済があったため減少

▶ グループ業績ハイライト（2024/3Q）

▶ 単体

- 5月以降の海上運賃の上昇と円安により増収となるも、競合他社との競争激化等による粗利率の低下と人件費の増加等により販管費が膨らみ減益。

▶ 国内子会社

<ユーシーアイエアフレイトジャパン>

- 主力とする航空輸送が好調を維持していることと、各営業所での営業活動等により取扱が増加し、増収増益。

<フライングフィッシュ>

- 新システムの導入や営業努力により顧客からの評価を高めたことが大口新規案件の獲得を含む取引の拡大に繋がり、増収増益。

▶ 海外子会社

- 倉庫事業の取扱が堅調に推移しているインド及び昨年物流倉庫の取得によって増床した内外釜山物流センターを中心とする韓国等が売上を伸ばした結果、増収増益。

物流業界の状況



- 中東情勢の緊迫化が継続、紅海通航再開の目途は立たず。
- 海上運賃は、8月以降、中国発の輸送需要の減少等により、下落傾向。



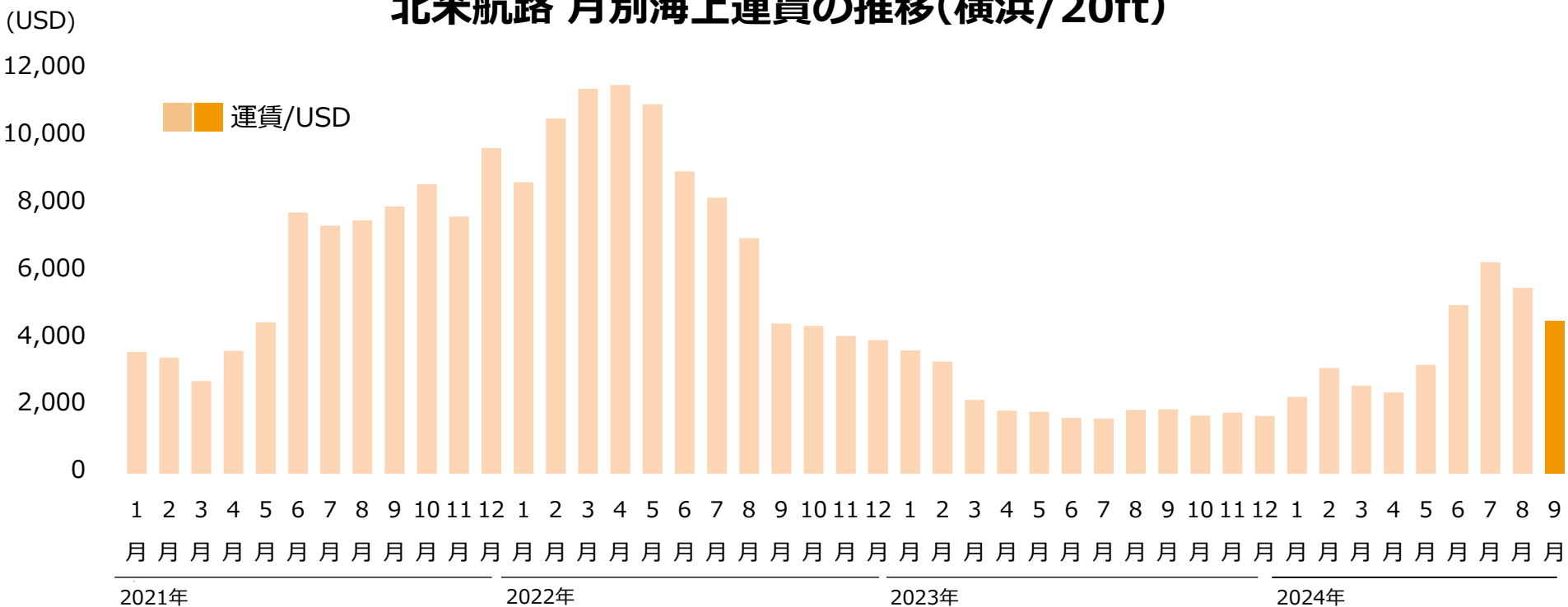
- 紅海情勢の影響を受け、納期の早い貨物については、海上輸送から航空輸送にシフト。



- 海上運賃はドル建てで決定されるため、円安は当社にとってはプラス要因。

▶ 運賃の動向について

北米航路 月別海上運賃の推移(横浜/20ft)



横浜/ロサンゼルス航路コンテナ運賃動向

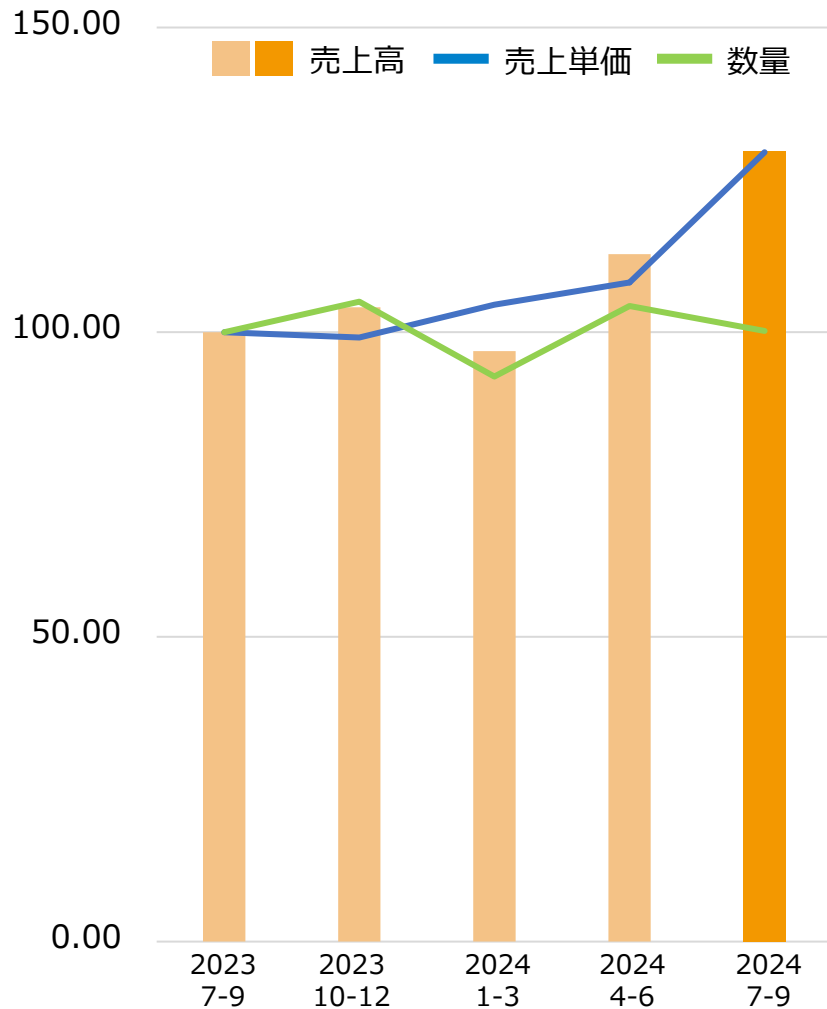
2024年10月29日
(USD)

年	サイズ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	20ft	3,662	3,332	2,192	1,871	1,840	1,657	1,637	1,894	1,908	1,725	1,812	1,714
	40ft	4,946	4,632	3,486	2,563	2,328	2,166	2,106	2,484	2,499	2,248	2,382	2,230
2024年	20ft	2,281	3,138	2,616	2,414	3,236	4,996	6,283	5,514	4,534			
	40ft	2,832	3,990	3,384	3,122	4,216	6,487	7,523	7,385	6,050			

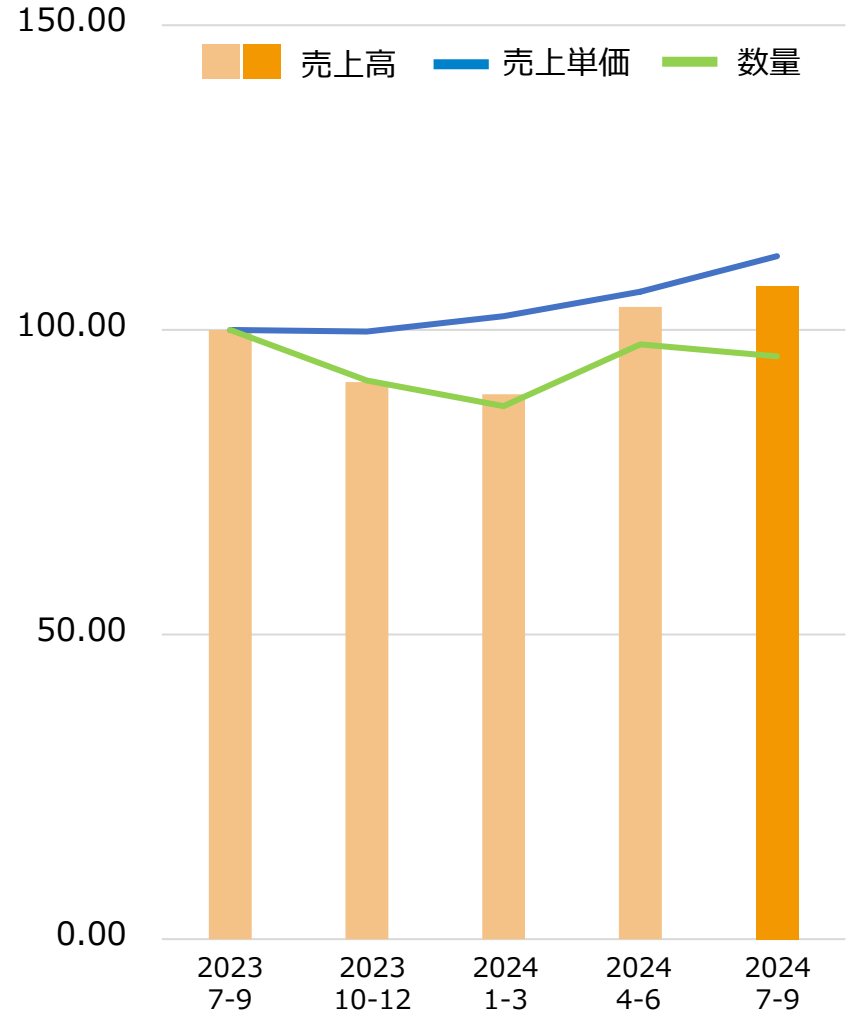
※(公)日本海事センター：コンテナ運賃動向資料を基に当社にて作成

▶ 単体混載売上高・売上単価・数量推移

輸出



輸入



※2023年7-9月を100とする

▶ 第5次中期経営計画（2023年～2027年）※1

当社グループが目指すもの

国際物流における
最高のソリューション
プロバイダーでありたい!

基本方針

真の国際総合フレイト
フォワーダーを目指す

本業の混載で
国内シェアトップ
維持拡大

第2の本業として
フォワーディング
を徹底的に拡大

グループ
売上高
700億円
(2027年度)

当期純利益※2
50億円
(2027年度)

※1 中長期的視点で経営する目的で5か年で設定

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

[2023年2月10日公表資料]

▶ ベトナムにおける子会社設立

2024年
秋

国内の連結子会社

フライングフィッシュ株式会社が ベトナム・ホーチミンに子会社設立

- **商号**：Flying Fish Vietnam Co.,Ltd.
- **所在地**：ベトナム社会主義共和国ホーチミン市
- **資本金**：8,000百万VND（約4,800万円）
- **会社設立年月**：2024年10月



ベトナム



▶ 新倉庫の建築及び用地取得

建築

韓国 内外釜山物流センター 釜山で冷凍倉庫を建築予定

- 建築費用：95億ウォン（約10億5,000万円）
- 倉庫面積：合計4,375㎡（3階）

韓国 内外銀山ロジスティクス 釜山で倉庫を建築予定

- 建築費用：19億ウォン（約2億100万円）
- 倉庫面積：1,974㎡（1階）



内外釜山物流センター 冷凍倉庫完成イメージ

用地取得

国内 株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパン 2024年7月 関空近辺に物流倉庫用地取得

- 用地取得費用：3億円
- 倉庫建設費用：3億9,000万円（予定）
- 用地面積：1,922㎡
- 倉庫面積：合計1,170㎡（2階）

▶ [営業活動] Food Japan 2024

2024年10月24～26日にシンガポールで開催されたASEAN市場最大級の日本の食に特化した見本市「Food Japan 2024」のオフィシャル運送会社に3年連続選定されました



当社は経営理念のもと SDGsと行動規範を関連付け グループ経営を推進

(経営理念・行動規範 2006年7月制定)

※内外トランスライングループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



■ 当社の行動規範(抜粋)とSDGs

私たちは高い倫理と協調の精神を持って行動します

- 女性活躍推進
- シニア雇用
- 育児・介護休業制度



私たちは会社の仕事を通じて社会への貢献を果たします

- 地域社会の発展・活性化・次世代育成
- 環境負荷低減
- CO₂排出量の算出
- サステナビリティ委員会
- CDP格付け取得

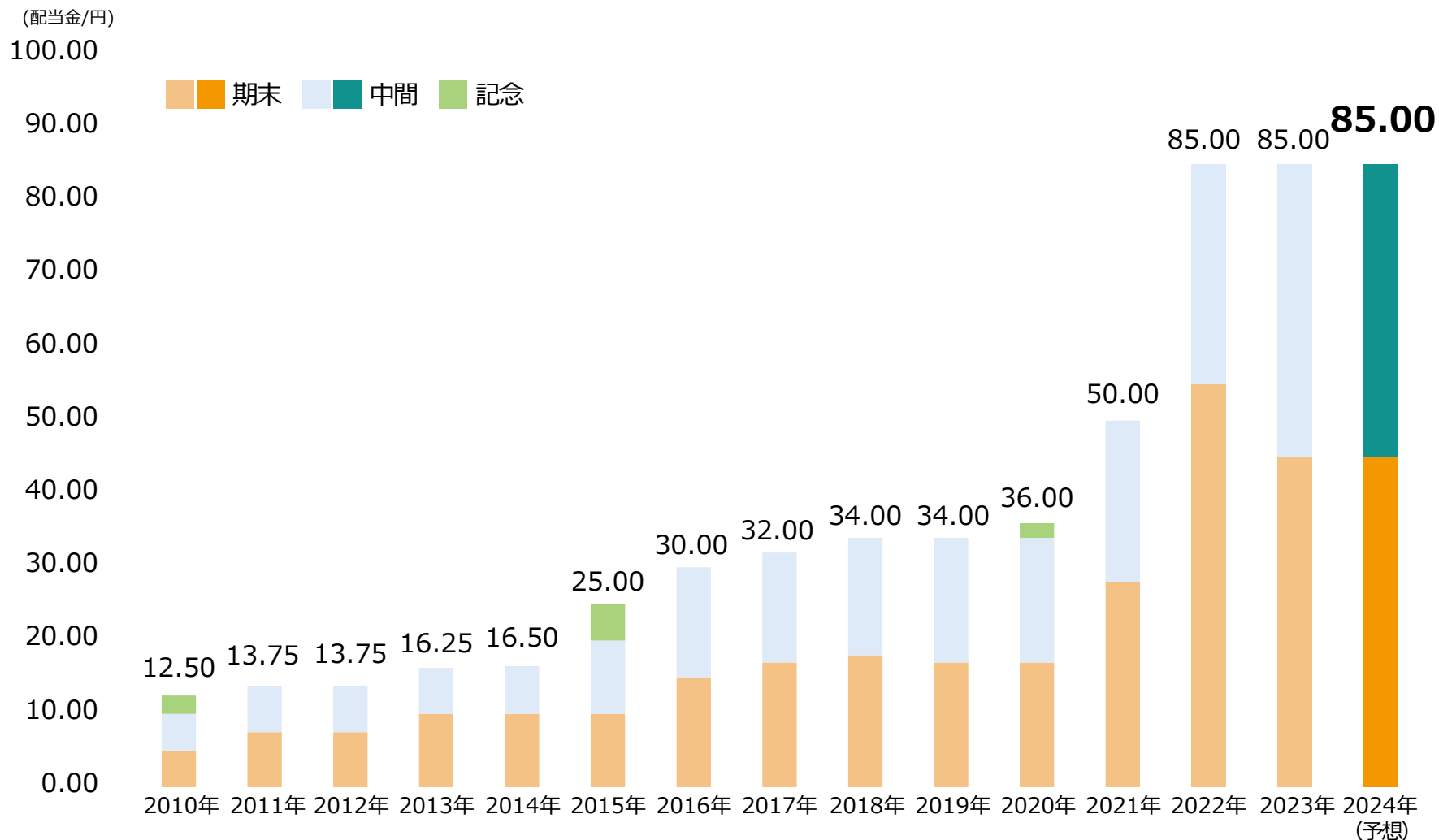


私たちはたゆまぬ努力により自己の成長を図り、社会を発展させてゆきます

- 社会・経済の発展に貢献



▶ 配当金の実績と予想



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

▶(ご参考) 株主優待制度



対象株主

毎年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された
下記保有株数に応じた株主様

100株～200株未満

カタログより1,500円相当
の商品か日本ユニセフへの
寄付を選択



200株～4,000株未満

カタログより2,500円相当
の商品か日本ユニセフへの
寄付を選択



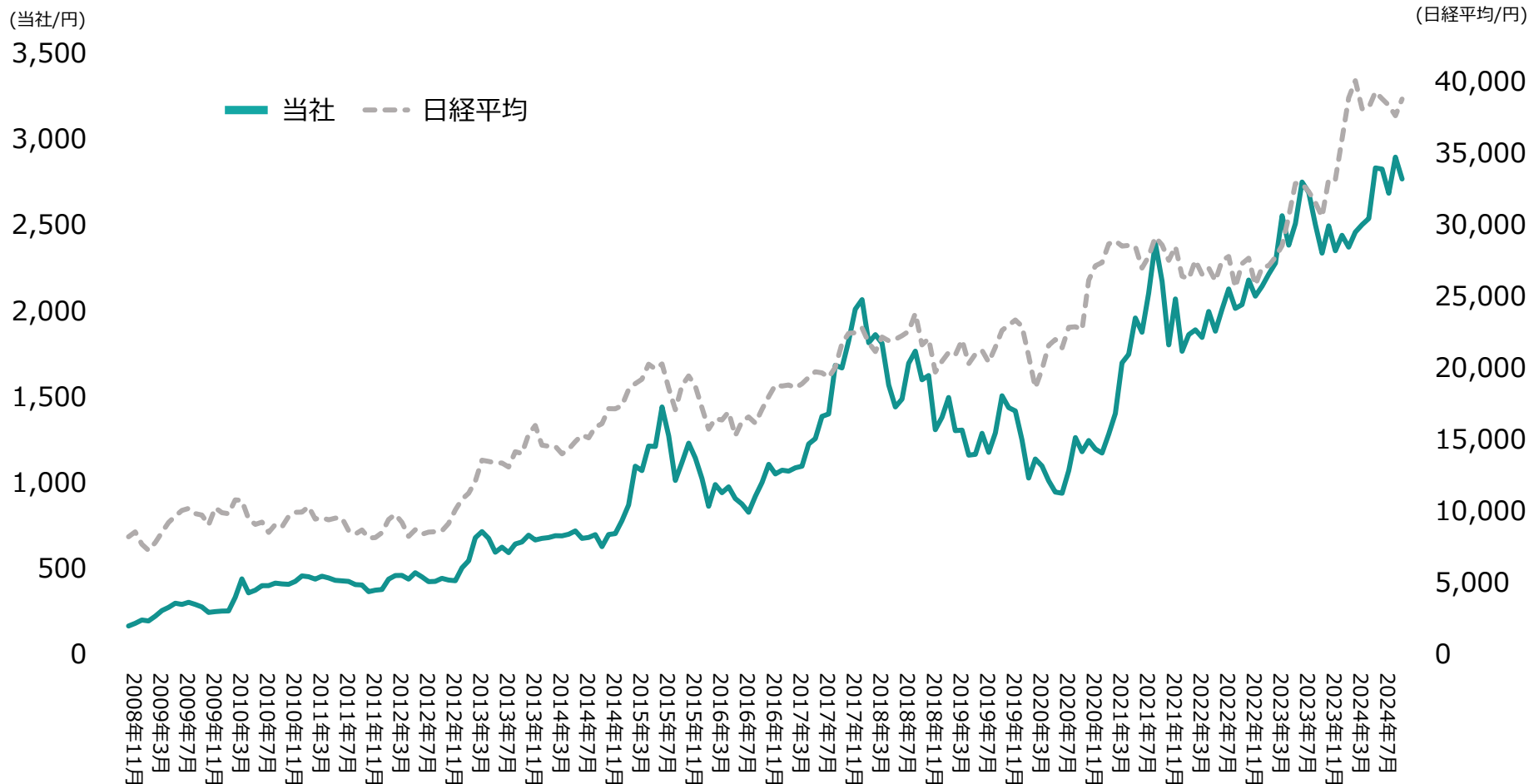
4,000株～

カタログより5,000円相当
の商品か日本ユニセフへの
寄付を選択



※写真は2024年12月期株主優待カタログ掲載商品の一例

▶ 当社株価と日経平均の推移



※2012年と2015年6月を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、分割後の株価を基に算出

出典：Yahoo! JAPANファイナンスを基に当社作成（株価は月末終値）

株価	2008年11月	2024年10月
当社	190	2,792
日経平均	8,512	39,081

ご清聴ありがとうございました



お問合せ先：取締役 IR担当 人見 茂樹

大阪本社 大阪市中央区備後町2丁目6番8号 サンライズビル5階

TEL 06-6260-4800 **URL** <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。